様式2

都市再生整備計画　事後評価シート

延命公園周辺地区

令和9年　3月

福岡県大牟田市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	大牟田市	地区名	延命公園周辺地区		面積	100.5ha
交付期間	令和3年度～令和7年度	事後評価実施時期	令和8年度	交付対象事業費	6,763.2百万円	国費率	50%	

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	（道路）市道浄真町橋線・宝坂町2丁目黄金町2丁目線、自転車通行帯整備（市道不知火町1丁目ー浦町線）、（公園）運動施設、公園整備（市民体育館跡地）、駐車場整備（徒渉プール跡地）、公園整備（園路）、お花見広場整備、延命配水池広場整備、（地域生活基盤施設）案内板整備（大牟田駅～動物園）、防災備蓄倉庫整備（延命公園防災備蓄倉庫整備）、（高次都市施設）地域交流センター
	提案事業	（地域創造支援事業）第2グラウンド整備（第2体育館跡地）、文化会館天井耐震改修（大牟田文化会館） （事業活用調査）事後評価分析、立地適正化計画改定

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	（道路）市道浄真町1号線	水道事業による前倒しの整備が決定したため、事業を削除。	なし
	提案事業	－	－	－
新たに追加した事業	基幹事業	（地域生活基盤施設）防災備蓄倉庫整備（延命公園防災備蓄倉庫整備）	延命公園周辺地区の防災機能の充実を図るため、防災備蓄倉庫を追加。	なし
	提案事業	（地域創造支援事業）文化会館天井耐震改修（大牟田文化会館） （事業活用調査）立地適正化計画改定	施設利用者の安全性確保の観点から、天井脱落対策としての耐震改修を追加。防災指針策定の検討による立地適正化計画の見直しを行うための追加。	なし

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	
	当　初	－	－	
	変　更	－		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	延命公園への来訪者数	千人／年	402	R2	402	R7		1,031	○	あり		事業で整備した施設では、利用者数が想定を上回り、目標値を大幅に上回ったことから、目標を達成した。	－
										なし			
指標2	延命公園への来訪者の滞在時間	時間	1.37	R2	1.75	R7		1.11	×	あり		「園内散策・散歩」の短時間利用の割合の増加により、延命公園の利用形態が変化し、平均滞在時間が低下した。また、滞留が期待される芝生広場の供用開始前に調査を実施したことが、評価値に影響したと推察される。	－
										なし	●		
指標3	地域の安全性の向上	%	38.0	R2	48.4	R7		87.3	○	あり		身近な防災施設の整備により、周辺住民の災害に対する安心感が大きく向上し、施設に対する高い満足度が確認できた。	－
										なし			

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	延命公園の日常利用者の割合	%	54.1	R2				71.7			公園内の施設や利用環境の整備により、公園の利用目的が特定の施設利用に限らず、散策・散歩、スポーツなどの日常的な利用へと広がり、地域住民が日常的に利用する公園としての機能が高まったと考えられる。	－
その他の数値指標2	延命公園の満足度	%	－	－				74.1			公園内施設や利用環境を一体的に整備したことで、公園の利便性、快適性及び利用しやすさが向上し、利用者の満足度の向上につながったと考えられる。	－
その他の数値指標3												

4）定性的な効果発現状況

・事業完了後、市全域を対象に実施したアンケート調査では、普段から延命公園を利用する回答者のうち、74.1%が「満足度が向上した」と回答した。また、このうち32.5%の方が満足した理由として「防災の機能も兼ね備えているから」と回答している。この結果から、安全性の向上が一定程度評価されたと推察される。
・人口減少が続く本市において、公園再整備との直接的な因果関係は確認できないものの、公園周辺の町丁目では近年人口増加の傾向を示す地区が増加している。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	事業の進捗状況を確認するとともに、推進する上での課題が生じていないかを随時確認した	都市再生整備計画に記載し、実施できた		延命公園基本計画に基づき、再整備後の延命公園を市民協働による維持管理ができる仕組みづくりに努める。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	都市再生整備計画に記載していた延命公園基本計画に関するワークショップに加え、総合体育館の機能、規模及び建設場所やインクルーシブ遊具に関するワークショップを実施した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	今後も住民参加手法を取り入れ、市民及び地域住民の施設利用に関する満足度の向上に努める。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	事業上の課題及び進捗状況について、庁内関係課間で情報を共有した。今後も関係課との連携しを行い、延命公園の運営や維持管理上の課題に対応する.	都市再生整備計画に記載し、実施できた		今後も関係課と連携し、延命公園の運営や維持管理上の課題への対応に努める。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

延命公園周辺地区（福岡県大牟田市）　都市再生整備計画の成果概要

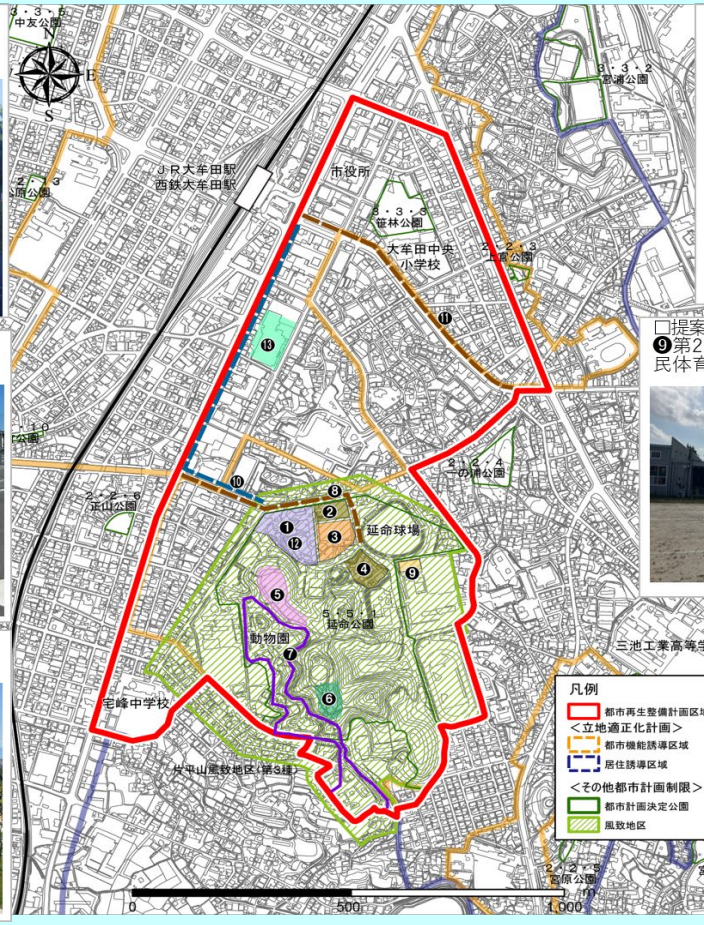
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：中心市街地の賑わいの創出と健康的な暮らしを支える交流拠点の形成	延命公園への来訪者数	単位：千人／年	402	R2	402	R7	1,031	R7
目標１：　観光、レクリエーション、健康、スポーツ機能を備え、市内外の子どもから高齢者まで多くの人々が訪れ、交流することで活気と賑わいが生まれるまちの形成	延命公園への来訪者の滞在時間	単位：時間	1.37	R2	1.75	R7	1.11	R7
目標２：　延命公園周辺の道路環境改善と防災機能の拡充による利便性と安全性の確保	地域の安全性の向上	単位：%	38.0	R2	48.4	R7	87.3	R7

■基幹事業（公園、高次都市施設）
❶運動施設・地域交流センター新築工事
❷駐車場



■基幹事業（地域生活基盤施設）
⓬防災備蓄倉庫整備（延命公園防災備蓄倉庫整備）





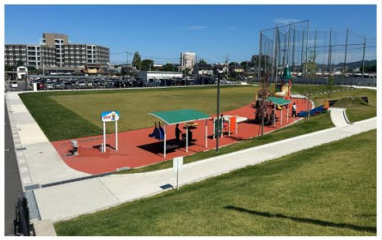
■基幹事業（公園）
❼公園整備（園路）



■基幹事業（道路）
❽道路整備（浄真町橘線・宝坂町２丁目黄金町２丁目線）



■基幹事業（公園）
❸公園整備（市民体育館跡地）



■基幹事業（公園）
❹駐車場整備（徒歩プール跡地）



□提案事業（地域創造支援事業）
❾第2グラウンド整備（第２市民体育館跡地）



■基幹事業（地域生活基盤施設）
❿案内板整備(大牟田駅～動物園)



■基幹事業（公園）
❺お花見広場整備



■基幹事業（公園）
❻延命配水池広場整備



■基幹事業（道路）
⓫自転車通行帯整備（不知火町１丁目一浦町線）



□提案事業（地域創造支援事業）
⓭大牟田文化会館天井耐震改修（大牟田文化会館）
□提案事業（事業活用調査）
・事後評価分析
・立地適正化計画改定

まちの課題の変化	・施設のバリアフリー化や総合体育館の整備、駐車場及び市道整備により、誰もが利用しやすい環境の整備、快適なスポーツ環境の提供、健康づくり拠点の形成及びアクセス性の向上が図られた。 ・一方で、施設間連携・交流の更なる強化や防災機能の周知と防災意識の向上が課題として残されている。 ・また、増加した来訪者の効果を中心市街地の活性化につなげるため、中心市街地との連携強化や回遊性向上を図るとともに、リニューアルした施設の魅力向上、適切な管理運営及び継続的な情報発信に取り組む必要がある。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・整備効果を持続するため、中心市街地や大牟田駅周辺、新庁舎周辺との連携強化による交流人口の拡大と回遊性の向上を図るとともに、立地適正化計画に基づく居住誘導の継続による定住人口の拡大や、防災マップの周知及び防災指針に基づく防災・減災対策を推進する。 ・残された課題や新たに発生した課題の改善に向けて、園内散策マップの作成や連携プログラムの検討等による回遊性の向上を図るとともに、延命公園基本計画に基づく適切な管理運営、市民やボランティア団体との協働による魅力育成、継続的な情報発信、各種イベントの検討・実施などを通じて、公園の利用促進と魅力向上に取り組む。